

時事用語集

世界レスリング 樋口が初優勝

2022 年 9 月 10 日からセルビアで行われた 2022 年レスリング世界選手権で、最終日の 18 日、男子フリースタイル 61 kg 級で樋口黎が金メダルを獲得した。16 日にはフリースタイル 70 kg 級で成國大志が優勝しており、日本男子が世界選手権で 2 階級フリースタイルを制するのは 43 年ぶり。

エリザベス英女王国葬

2022 年 9 月 19 日、イギリスのエリザベス 2 世の国葬が首都ロンドンにあるウェストミンスター寺院で行われた。この日はイギリス全土で休日となった。国葬後、棺はバッキンガム宮殿の前を通過してウィンザー城へ向かい、同城の敷地内のセントジョージ礼拝堂に埋葬された。イギリス全土で 2 分間の黙とうが行われ、現地時間正午には国歌が歌われた。「ゴッド・セーブ・ザ・クイーン」の歌詞は「ゴッド・セーブ・ザ・キング」へと変わった。

エリザベス 2 世は同月 8 日に 96 歳で亡くなった。1952 年から 2022 年まで 70 年在位し、イギリスの君主として在位最長だった。

安倍氏国葬

2022 年 9 月 27 日、同年 7 月に射殺された安倍晋三元首相の国葬が東京の日本武道館で行われた。国葬には、海外からの参列者約 700 人を含む 4100 人以上が参列した。210 以上の国や地域、国際機関の代表団らが訪れた。国葬会場に近い九段坂公園に 2 台設置された一般向けの献花台には多くの人が花を手向けた。一方で、国葬に抗議する人も多く見られた。政府は、同年 8 月に同年度予算の予備費から約 2 億 5000 万円を支出することを閣議決定したほか、9 月 6 日には全体の費用の概算は約 16 億 6000 万円だと発表した。国葬後の同年 10 月には、概算を約 4 億円下回る 12 億円台半ばとなる見通しを公表した。戦後の元首相の国葬は、1967 年に行われた吉田茂元首相以来、2 度目である。

村上 史上最年少で三冠王

2022 年 10 月 3 日、プロ野球東京ヤクルトスワローズの村上宗隆が神宮球場で行われた横浜 DeNA ベイスターズとの試合で 56 号ソロホームランを打ち、首位打者、ホームラン王、打点王の三冠を獲得した。三冠王は、2004 年の松中信彦以来 18 年ぶりで、22 歳での達成は史上最年少である。また、56 本塁打は 1964 年の王貞治のシーズン 55 本を上回り、日本人選手の最多記録となった。

ウクライナの人権団体 ノーベル平和賞

2022 年のノーベル賞が同年 10 月 3 日より発表され、7 日にウクライナの人権団体「市民自由センター(CCL)」らへの平和賞の授与が発表された。CCL は同年 2 月に始まったロシアのウクライナ侵攻に関してロシアの戦争犯罪を記録し続けている。同賞は、ロシアの人権団体「メモリアル」やベラルーシで拘束されている人権活動家アレシ・ビャリャツキ氏も受賞した。

各賞の受賞者は以下のとおり（敬称略）。

- 医学・生理学賞：スバンテ・ペーボ
- 物理学賞：アラン・アスペ、ジョン・クラウザー、アントン・ツァイリンガー
- 化学賞：キャロリン・ベルトツツィ、モーテン・メルダル、バリー・シャープレス
- 文学賞：アニー・エルノー
- 平和賞：アレシ・ビャリャツキ、人権団体「メモリアル」、人権団体「市民自由センター」
- 経済学賞：ベン・バーナンキ、ダグラス・ダイヤモンド、フィリップ・ディビック

イプシロン 打ち上げ失敗

2022 年 10 月 12 日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)は小型ロケットのイプシロンロケット 6 号機を鹿児島県内の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げたが、失敗に終わった。ロケットに異常が発生したため、機体を破壊する指令を送った。イプシロンロケットの打ち上げ失敗は、今回が初めてだった。

円安 1 ドル 150 円突破

2022 年 10 月 20 日の東京外国為替市場で円相場が 1 ドル=150 円台まで下落し、輸入品の価格高騰が加速した。約 32 年ぶりの円安水準である。今回の円安進行の要因は、利上げを行う米国と金融緩和を行う日本との金利差の拡大である。

メローニ伊首相就任

2022 年 10 月 22 日、イタリアで新たにジョルジャ・メローニ氏が首相に就任し、イタリア初の女性首相となった。メローニ首相は、極右政党「イタリアの同胞(FDI)」の党首も務めており、同党と右派の政党の連立政権を率いる。

スナク英首相就任

2022 年 10 月 25 日、イギリスで新たにリシ・スナク氏が首相に就任した。同年 9 月に女性としては 3 人目の首相に就任したリズ・トラス前首相の後任を決める選挙にスナク新首相のみが立候補し、同年 10 月 24 日に保守党の党首に選出、25 日にバッキンガム宮殿でチャールズ国王から首相に任命された。スナク首相はインド系の両親を持ち、イギリス初のアジア系の首相である。また、42 歳 5 か月での首相就任は、20 世紀以降のイギリスで最も若い。

ウクライナ全土にミサイル攻撃

2022 年 10 月 10 日、ロシアがウクライナ全土へのミサイル攻撃を開始した。10 日には、首都キーウなど複数の都市に 80 発以上のミサイルを発射し、120 人以上が死傷した。ロシアは、同月 8 日に起きたクリミアとロシアをつなぐ橋の爆発に対する報復措置だと主張した。ウクライナのゼレンスキー大統領は同日中に動画を公開し、ロシアを強く非難した。ロシアは、同年 2 月末からウクライナに侵攻していた。

ソウルで雑踏事故

2022 年 10 月 29 日、韓国ソウルの梨泰院で多くの人が折り重なるようにして倒れ、死傷者が多数発生した。同月 30 日に消防当局は 154 人が死亡し、133 人がけが、このうち 37 人は重傷だと発表した。死亡した人の中には日本人 2 人も含まれていた。当時、ハロウィーンのイベントが行われており、死傷者の多くが 10 代から 20 代だった。死者は圧死がほとんどであり、女性が男性の約 2 倍だった。

世界の人口が 80 億人を突破

国連人口基金(UNFPA)は、世界の人口は 2022 年 11 月 15 日に 80 億人を超えると発表し、同日を「80 億人の日」とした。世界の人口が 70 億人を超えたのは 2011 年であり、約 11 年で 10 億人増加した。最も多く増加したのはアフリカであり、今後も人口は大幅に増加し、2050 年には世界の人口の 4 分の 1 がアフリカの人々になると予測した。また、アジアの一部の国も大幅増加が見込まれている。一方で、南欧や東欧では減少した。

ポーランドにミサイル着弾

2022 年 11 月 15 日、ポーランド東部のプシェボドフにロシア製のミサイルが着弾し、市民 2 人が死亡した。同年 2 月に開始したロシアのウクライナ侵攻以降、北大西洋条約機構(NATO)加盟国でミサイルによる死者が出たのは初めてである。これを受け、16 日に主要 7 カ国(G7)首脳らは、主要 20 カ国・地域首脳会議(G20 サミット)が行われているインドネシアのバリ島で緊急会合を開いた。

日中首脳、3年ぶり対面会談

2022年11月17日、タイのバンコクで岸田首相は中国の習近平国家主席と会談した。対面では約3年ぶり、岸田首相と習国家主席が会うのは初めてである。約40分間会談が行われ、両国は、「建設的かつ安定的な日中関係」を構築すること、緊密に意思疎通を行うこと等で一致した。

宗教法人に「質問権」初行使

2022年11月22日、文部科学省は宗教法人法に定められている「質問権」を行使したと発表した。「質問権」とは、法令違反などが疑われる宗教法人に対して文部科学省や都道府県の職員が運営実態などについて報告を求めたり、質問したりできるものである。この規定は1996年の宗教法人法改正で追加されたが、実際に行使されたのは施行以来初である。同年10月17日に岸田文雄首相が衆議院予算委員会で表明したことを実施した形となった。

W杯サッカー、ドイツに勝利

2022年11月20日から12月18日にカタールで開催されたFIFAワールドカップカタール2022で、日本対ドイツ戦が11月23日に行われ、日本が2対1で勝利を収めた。同大会の優勝国はアルゼンチンだった。

2022年の新語・流行語大賞

2022年の「ユーキャン新語・流行語大賞」が2022年12月1日に発表され、年間大賞に「村神様」が選ばれた。これはプロ野球、ヤクルトスワローズに所属する村上宗隆選手の、高い打率でチームに貢献する姿を表したものである。大賞を除くトップ10には、「キーウ」「きつねダンス」「国葬儀」「宗教2世」「知らんけど」「スマホショルダー」「てまえどり」「Yakult(ヤクルト)1000」「悪い円安」が選ばれた。また、今年は選考委員特別賞も発表され、「青春って、すごく密なので」が選ばれた。

不当寄付勧誘防止法成立

法人・団体による不当な寄付の勧誘を規制する不当寄付勧誘防止法が2022年12月10日に参議院において可決、同月16日に公布された。一部の宗教法人への高額寄付問題に対応した形となる。この法律により、不当な寄付の勧誘が行われた際に、本人やその家族からの寄付の取り消し、法人等への措置・刑罰を行えるようになった。

井上 日本人初 4 団体統一王者

2022 年 12 月 13 日、ボクシング世界バンタム級 4 団体王座統一戦が東京の有明アリーナで行われ、井上尚弥選手が世界ボクシング機構(WBO)王者のポール・バトラー選手に KO 勝ちし、主要全 4 団体王座統一を果たした。4 団体統一王者は世界で 9 人目、バンタム級では世界初、日本人ではすべての階級で初である。

2022 年今年の漢字は「戦」

2022 年 12 月 12 日、公益財団法人日本漢字能力検定協会は「今年の漢字」を発表した。京都・清水寺の森清範貫主が揮毫(きごう)した「今年の漢字」は「戦」。この漢字が選ばれた理由としては、ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮の度重なるミサイル発射によって戦争を意識したこと、円安や原油高による物価高、電力不足や新型コロナウイルス感染症等日常の戦いが続いていること、サッカーW 杯や北京冬季五輪、野球などスポーツ界での熱戦、挑戦に注目が集まったことなどが挙げられる。

2 か月で 4 閣僚辞任

2022 年 8 月に発足した第 2 次岸田改造内閣において、2023 年 10 月 24 日から 12 月 27 日までの約 2 か月で相次いで 4 人閣僚が辞任した。10 月には、旧統一教会との関係により山際大志郎経済再生大臣が、11 月には「死刑のはんこ」に関する発言で葉梨康弘法務大臣、政治資金をめぐる問題で寺田稔総務大臣が、12 月にも同問題で秋葉賢也復興大臣が辞任した。

北朝鮮ミサイル発射 最多

北朝鮮はミサイルの発射を繰り返し、2022 年で合計 37 回約 70 発、発射した。この回数は、1993 年に初めて北朝鮮がミサイル発射を成功させて以来最多である。2022 年 3 月にはアメリカ本土が射程に入る大陸間弾道ミサイル(ICBM)を発射したり、同年 10 月に中距離弾道ミサイルが日本列島上空を通過したりと多様なミサイル発射を繰り返した年となった。

第 168 回芥川賞・直木賞

2023 年 1 月 19 日、「第 168 回芥川賞」および「第 168 回直木賞」の受賞作品が発表された。芥川賞は井戸川射子氏の「この世の喜びよ」、佐藤厚志氏の「荒地の家族」が、直木賞は小川哲氏の「地図と拳」、千早茜氏の「しろがねの葉」がそれぞれ受賞した。

仏 年金改革に 100 万人超デモ

2023 年 1 月 19 日、フランス各地で年金の支給開始年齢を現行の 62 歳から 64 歳に引き上げるなどの年金改革案に対するデモが行われた。フランス全土で約 112 万人が参加し、首都パリのレピュブリック広場には 8 万人以上の参加者が集まり、一部は機動隊に催涙ガスで鎮圧された。

列車一時立ち往生 JR 西日本

2023 年 1 月 24 日から 25 日の大雪の影響で、JR 西日本の列車が計 15 本立ち往生し、約 7000 人が閉じ込められた。25 日には、国土交通省が JR 西日本に対して再発防止に必要な措置を行うように指導した。

全豪テニス ジョコビッチ優勝

テニスのグランドスラム(四大大会)の 1 つである全豪オープンテニス 2023 本戦が 1 月 16 日から同月 29 日までオーストラリアのメルボルンで行われた。29 日の男子シングルス決勝で、セルビアのノバク・ジョコビッチ選手が勝利し、2 年ぶり 10 回目の同大会優勝となった。これにより、ジョコビッチ選手の四大大会の優勝回数は 22 回となり、男子最多記録に並んだ。

パキスタン自爆テロ 死者多数

2023 年 1 月 30 日にパキスタン北西部に位置するペルシャワルのモスクで自爆テロが発生した。同月 31 日に地元メディアは 100 人以上が死亡したと報じた。パキスタンでは、2022 年 11 月にイスラム武装勢力「パキスタン・タリバン運動(TTP)」が政府との停戦合意を破棄し、暴力行為が増加していた。今回の事件に関しては、TTP の広報担当者が関与を否定した。

新井首相秘書官更迭 差別発言

岸田首相は、2023 年 2 月 4 日、同性婚に関する問題発言により、新井勝喜首相秘書官を更迭した。同月 3 日、新井氏は記者団に(同性婚を)見るのも嫌だ、同性婚を認めたら国を捨てる人が出てくる、といった趣旨の発言を行っていた。新井氏の後任には、経済産業省の伊藤禎則秘書課長が起用された。主要 7 개국(G7)の中で同性婚を認めていないのは、日本のみである。

トルコ・シリア大地震

2023 年 2 月 6 日午前トルコ南部で M7.8 の、同日午後には M7.5 の地震が発生。震源地はシリア国境に近く、トルコ南部とシリア北部に大きな被害を与えた。同月 8 日、トルコ政府は国内で 8574 人が死亡したと発表。また、シリア保健省は 1262 人が死亡、反政府勢力支配地域で少なくとも 1400 人が死亡したと発表。その後の発表では、5 万人以上が死亡したことが分かった。電気や水道などの生活インフラも遮断され、1 か月以上テントで生活する人もいた。シリアでは、反政府勢力が支配する地域への十分な支援物資配給が難航した。

W杯女子ジャンプ 表彰台独占

2023 年 2 月 5 日にドイツのビルンゲンでノルディックスキーのワールドカップ個人戦が行われ、日本女子史上初の表彰台独占を果たした。伊藤有希選手が 1 位、丸山希選手が 2 位、高梨沙羅選手が 3 位だった。

宇宙飛行士候補者 2 名選抜

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は 2023 年 2 月 28 日、諏訪理さんと米田あゆさんを宇宙飛行士候補者に選んだと発表した。宇宙飛行士の選抜試験実施は 14 年ぶり 6 回目であり、過去最多の 4127 人が応募していた。世界銀行職員の諏訪さんは 46 歳と歴代最年長、日本赤十字社医療センター医師の米田さんは 28 歳と歴代最年少タイ、女性では 3 人目である。

国内出生数 80 万人を下回る

2023 年 2 月 28 日、厚生労働省は 2022 年の国内の出生数が 79 万 9728 人だったと発表した。2021 年と比べ 5.1%減であり、80 万人を下回るのは 1899 年の統計開始以来初めてである。出生数は、2016 年から 7 年連続で減少し続けている。

H3 ロケット 打ち上げ失敗

2023 年 3 月 7 日、日本の新型ロケット「H3」初号機が鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられたが、失敗に終わった。「H3」は柔軟性、高信頼性、低価格の 3 要素を掲げ、三菱重工業と JAXA が協力して開発を進めた。

藤井、最年少六冠

将棋の藤井聡太五冠が、2023 年 3 月 19 日の第 48 期棋王戦五番勝負の第 4 局にて勝利し、六冠を達成した。この六冠達成は将棋界で 2 人目となる。20 歳 8 ヶ月での達成は、羽生善治九段の 24 歳 2 ヶ月での達成を上回る最年少記録となった。

袴田氏 裁判やり直し決定

東京高等裁判所は、2023 年 3 月 13 日、**死刑が確定していた袴田巖氏の裁判のやり直しを認めた**。袴田氏は 57 年前の 1966 年に静岡県で一家 4 人が殺害された事件で、死刑判決が下されていた。**死刑確定後に再審が行われるのは 5 件目であり、過去 4 件はすべて無罪となっている。**

WBC 侍ジャパン世界一

2023 年 3 月 8 日から同月 22 日(日本時間)まで行われたワールド・ベースボール・クラシック(WBC)は、**米フロリダでの決勝で侍ジャパンがアメリカに 3 対 2 で勝利した**。3 大会ぶり、3 度目の優勝となった。**WBC で無敗の優勝は、ドミニカ共和国以来、2 チーム目である**。同大会の MVP には、**大谷翔平選手**が選ばれた。日本から MVP が選ばれるのは松坂大輔氏以来である。

世界フィギュア 宇野 2 連覇

2023 年 3 月 25 日、フィギュアスケートの**世界選手権男子フリー**が行われ、宇野昌磨選手が総合得点 301.14 点で**大会 2 連覇**を果たした。**男子シングルでの日本勢大会連覇は初めて**。

文化庁、京都に移転 業務開始

2023 年 3 月 27 日、文化庁が**京都市に移転し、業務を始めた**。都倉俊一長官や一部の職員が霞が関から移転して体制を整え始めた。**東京一極集中の改善**や文化行政の向上を目標とした取り組みであり、**中央省庁の本格的な地方移転は明治以降初めてである**。

こども家庭庁、発足

2023 年 4 月 1 日、子どもに関する取り組み・政策の司令塔となる**こども家庭庁が創設された**。妊娠、出産、子育てへの支援、虐待、いじめ等への対応だけでなく、地方創生や住宅政策などにも子どもや若者の意見を反映させるために取り組むとしている。また、小倉將信こども政策担当大臣は、**2023 年度を「こどもまんなか元年」に位置付けると発言した**。

首相演説に爆発物

2023 年 4 月 15 日、**岸田首相が衆議院和歌山 1 区補欠選挙の応援演説に訪れていたところ、近くに爆発物が投げ込まれた**。岸田首相にけがはなく、容疑者の男はその場で取り押さえられ、**現行犯逮捕された**。海外メディアもこの事件を相次いで速報した。爆発物は、パイプ状で黒色火薬を使用した手製のものだった。

スーダンで武力衝突

アフリカ北東部に位置するスーダンの首都ハルツームで 2023 年 4 月 15 日、**国軍と準軍事組織「即応支援部隊(RSF)」の戦闘が始まった**。ハルツームでは、食料・水・燃料が不足し、通信障害や銀行システム、医療施設の機能不全も発生した。この武力衝突の背景として、**民政化への移行の中での国軍と RSF の権力争いが挙げられている**。国軍と RSF の二重状態になっている軍を単一の国軍に統一しようとする過程で両者の対立が深まったとみられる。**世界保健機構(WHO)は同月中に 450 人以上が死亡したと伝えた**。2023 年 9 月現在も激しい戦闘は続き、死者は 1200 人を超えた。

一部地域で部分日食

2023 年 4 月 20 日、**日本を含む太平洋側の一部地域で部分日食が見られた**。日本で日食が見られるのは **2020 年以来約 3 年ぶり**。次に日本で部分日食が見られるのは 2030 年である。インド洋と太平洋の一部地域では、金環日食や皆既日食が確認された。

統一地方選 前後半

統一地方選挙が 2023 年 4 月 9 日に前半、4 月 23 日に後半の投票が行われた。同選挙は **4 年に 1 度**行われている。前半、後半ともに**女性の当選者割合が過去最高**となり、政令市を除く市議選後半では初めて 2 割を超えた。また、9 道府県の知事選挙が前半に行われ、**奈良県知事選挙で、大阪以外では初めて維新公認候補が当選した**。

衆参補欠選 自民党が 4 勝

衆議院議員と参議院議員の補欠選挙は 2023 年 4 月 23 日に投票が行われ、**自民党が前回より 1 議席増え、4 議席を獲得した**。残りの 1 議席は日本維新の会が獲得し、立憲民主党は議席を獲得できなかった。

能登地方で震度 6 強

石川県能登地方を震源とする地震が 2023 年 5 月 5 日午後 2 時 42 分ごろ発生。気象庁は、マグニチュード 6.5、震源の深さは 12km と推定した。石川県珠洲市で**震度 6 強の揺れが観測された**。さらに、同日午後 10 時ごろには、**震度 5 強の揺れが観測された**。珠洲市では、地震の影響により **120 世帯以上で断水が発生したが**、同月 7 日までにほとんどの地域で復旧した。同月 6 日には、大雨警報が出され、地震で緩んだ地盤が水を含み土砂災害が警戒された。

英 70 年ぶり戴冠式

2023 年 5 月 6 日、イギリスのチャールズ国王の戴冠式が首都ロンドンのウェストミンスター寺院で行われた。戴冠式は即位を国内外に伝えるためのものであり、1000 年以上続いている。儀式では、「宣誓」や「塗油」、「叙任」などが行われる。中でも、塗油の儀は最も神聖な部分とされており、今回も覆いの陰で英国国教会の最高位聖職者であるカンタベリー大主教が聖油をチャールズ国王に塗った。また、初めて非キリスト教徒が戴冠式で王位を象徴する衣や指輪等を運ぶ重要な役割を担った。

新型コロナ「5 類」引き下げ

2023 年 5 月 8 日、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2 類相当」から「5 類」に移行した。これにより、季節性インフルエンザと同じ扱いになり、検査費用や外来診療の窓口負担が自己負担になり、入院勧告や就業制限、外出自粛の要請が無くなった。また、マスクの着用も原則不要になった。

株価、33 年ぶりの高値

2023 年 5 月 19 日、東京株式市場の日経平均終値は 3 万 808 円 35 銭となり、「バブル景気」にあたる 1990 年 8 月以来、約 33 年ぶりの高値となった。日経平均は 22 年以降、2 万 5000 円～2 万 9000 円前後で推移していたが、23 年 5 月になってからは上昇傾向にあった。外国為替市場では、1 ドル＝138 円台となり、円安・ドル高によって輸出関連に好影響を与えた。

G7 広島サミット開催

G7 広島サミットが 2023 年 5 月 19 日から 21 日まで広島市で開催された。ウクライナ情勢や核軍縮・不拡散が大きなテーマとして扱われた。また、核軍縮に関する声明「広島ビジョン」が発表された。ロシアの核による威嚇への非難や中国の核増強への懸念、核兵器不拡散条約(NPT)の堅持などが含まれている。G7 各国の首脳が原爆資料館を視察した。G7 の首脳が同時に原爆資料館を訪れたのは初めてである。

世界卓球 銀メダル

2023 年世界卓球選手権ダーバン大会が南アフリカのダーバンで 2023 年 5 月 20 日から同月 28 日まで行われ、26 日の混合ダブルス決勝で張本智和選手と早田ひな選手が中国の選手に敗れ、銀メダルを獲得した。混合ダブルスでの銀メダル獲得は 2 大会連続である。

GX 脱炭素電源法 成立

2023 年 5 月 31 日、脱炭素社会の実現に向けた電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律(**GX 脱炭素電源法**)が参議院本会議で可決・成立した。電気事業法や原子炉等規制法などの一部を改正し、**最長 60 年とされていた原発の運転期間**に関して、**実質的に上限を超えて運転できるようになった**。

藤井、名人獲得し七冠達成

将棋の藤井聡太六冠が 2023 年 5 月 31 日、6 月 1 日に行われた**第 81 期名人戦七番勝負の第 5 局**にて勝利を収め、**史上最年少で名人を獲得し、2 人目の「七冠」を達成した**。これにより、将棋の八大タイトルのうち、**藤井七冠が保持していないのは「王座」のみ**となった。

改正入管法が成立

2023 年 6 月 9 日、出入国管理及び難民認定法の改正案が可決・成立した。難民認定の申請が原則 2 回まで、**3 回目以降は相当な理由を示さない限り申請中でも強制送還ができるようになり**、送還を妨害した人などにも罰則が与えられる。また、入管施設外での生活を認める「**監理措置**」という制度も**新たに導入した**。強制送還を拒否する外国人の長期収容を改善する目的である。さらに、**紛争地等の避難民を「補完的保護対象者」として難民に準じた扱いを行うことも定めた**。

ジェンダー平等 日本 125 位

世界経済フォーラム(WEF)が 2023 年 6 月 21 日、**2023 年度版「ジェンダーギャップ・レポート」**の男女平等ランキングを発表し、**日本は過去最低の 146 か国中 125 位**だった。経済、教育、健康、政治の 4 つの分野に分かれており、**政治が 138 位、経済が 123 位**と男女格差が大きいことが示された。**1 位は 14 回連続でアイスランド**だった。

LGBT 理解増進法成立

2023 年 6 月 23 日、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(**LGBT 理解増進法**)が**公布・施行された**。性的マイノリティーへの不当な差別をなくすことを目的とし、**理解の増進や啓発、環境の整備などを努力義務として定めた**。

マイナンバー改正法

マイナンバーの利用範囲拡大を進めるための改正法が、2023 年 6 月 2 日に参議院本会議で賛成多数により可決・成立した。**健康保険証とマイナンバーカードを一体化し 2024 年秋の現行保険証の廃止、不同意と回答しない場合のマイナンバーと年金口座のひもづけ、国家資格の手続きや自動車に関する登録など事務で使えるマイナンバーの分野の広がり等の変更**がなされた。

第 169 回芥川賞・直木賞

2023 年 7 月 19 日、「第 169 回芥川賞」および「第 169 回直木賞」の受賞作品が発表された。芥川賞は市川沙央氏の「ハンチバック」が、直木賞は垣根涼介氏の「極楽征夷大將軍」、永井紗耶子氏の「木挽町のあだ討ち」がそれぞれ受賞した。

個人情報保護委、デジタル庁検査

マイナンバーを使用した口座登録において、誤って第三者の口座が紐づけられていた問題で、政府の第三者機関の個人情報保護委員会は 2023 年 7 月 19 日、デジタル庁の立ち入り検査を実施した。中央省庁への立ち入り検査は 2 度目であり、前回もマイナンバー関連で、国税庁に立ち入り検査した。

最高裁 トイレ使用制限は違法

2023 年 7 月 11 日、経済産業省職員のトランスジェンダー女性に省内の女性トイレ使用を制限したのは違法だと最高裁判所が判決を下した。性的少数者の職場環境に関する訴訟で最高裁が判断するのは初めて。

ビッグモーター 立ち入り検査

2023 年 7 月 28 日、国土交通省は中古車販売大手のビッグモーターに対し、道路運送車両法に基づいて全国 34 店舗への立ち入り検査を開始した。同社は、自動車保険の保険金を水増しして不正に請求するために故意に車を傷つけたことなどが指摘されていた。

W 杯 なでしこ準々決勝敗退

2023 年 7 月 20 日から 8 月 20 日に FIFA 女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド 2023 がオーストラリアとニュージーランドで行われた。8 月 11 日の日本対スウェーデンによる準々決勝では、日本代表のなでしこジャパンが 1 対 2 で敗れ、準決勝進出は叶わなかった。同大会の優勝国はスペインだった。

男子フルーレ団体日本金メダル

2023 年 7 月 22 日から同月 30 日までフェンシング世界選手権 2023 がイタリア北部のミラノで行われ、最終日の 30 日に日本代表チームが男子フルーレ団体決勝で勝利し、初優勝を果たした。世界選手権団体での金メダル獲得は、男女を通じて日本初である。

ハワイ・マウイ島で山火事

2023 年 8 月 8 日、ハワイのマウイ島で山火事が発生し、マウイ島西部のラハイナを中心部に壊滅的な被害をもたらした。アメリカのバイデン大統領は同月 15 日の演説で「過去 100 年以上で最悪の山火事」と述べた。同月 18 日、同党当局は少なくとも 114 人が亡くなったと発表した。当時、ハワイ諸島の南部を通過したハリケーンの影響で強風が吹き、急速に火が広がった。

台風 7 号、本州上陸

2023 年 8 月 15 日、台風 7 号が和歌山県に上陸し、近畿地方を北上して、日本海に抜けた。鳥取県の一部の地域には大雨特別警報が出され、一時 800 世帯以上の約 1800 人が孤立状態となった。また、鳥取県と岡山県で非常に激しい雨が降り続ける線状降水帯も発生し、同 2 県と香川県、岩手県では月降水量が平年の 8 月の 2 倍を超えた。

慶応 107 年ぶり甲子園優勝

第 105 回全国高等学校野球選手権記念大会で、2023 年 8 月 23 日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場にて決勝が行われ、神奈川県代表の慶應義塾高校が 107 年ぶりに優勝した。連覇を狙う宮城県代表の仙台育英学園高校に勝利し、第 2 回大会以降 2 回目の優勝を果たした。

処理水 海洋放出

2023 年 8 月 24 日、東京電力福島第一原子力発電所の処理水を太平洋に放出開始した。2011 年 3 月の東日本大震災以降、核燃料を冷やすために使用された処理水が貯蓄され続けてきた。同月 22 日に関係閣僚会議で海洋放出が決定してから、トリチウムの濃度が国の基準である 6 万ベクレルを大きく下回る 1500 ベクレルよりも薄くなるように、処理水を海水で希釈する作業を行っていた。

世界陸上 北口やり投げ金

2023 年 8 月 19 日から同月 27 日に第 19 回世界陸上競技選手権大会がハンガリーのブダペストで行われた。25 日に行われた女子やり投げ決勝で北口榛花選手が 66m73cm で日本勢初の金メダルを獲得した。また、これにより 2024 年のパリ五輪日本代表に内定した。同大会では、20 日の男子 100m 決勝のサニブラウン・ハキーム選手が日本勢過去最高の 6 位入賞、21 日の男子 110m ハードルの泉谷駿介選手が日本勢初の決勝進出で 5 位入賞、25 日の男子 35km 競歩の川野将虎が銅メダル獲得を果たした。

そごう・西武 ストライキ実施

2023 年 8 月 31 日、そごう・西武の労働組合はストライキの実施を決定し、西武池袋本店の全館で休業した。親会社セブン＆アイ・ホールディングスによる、百貨店「そごう・西武」の海外投資ファンド売却に抗議した形となる。大手百貨店のストライキは 1962 年の阪神百貨店以来 61 年ぶり。同日の取締役会で売却を最終的に決議し、翌日の 9 月 1 日には、セブン＆アイがそごう・西武のすべての株式をアメリカの投資ファンド「フォートレス・インベストメント・グループ」に売却したと発表した。

辺野古工事 沖縄県敗訴

米軍普天間基地の移転先である名護市辺野古での工事の設計変更をめぐり、埋め立て予定地で見つかった軟弱地盤に対して地盤の改良工事を行うよう国が設計変更を求めた「是正の指示」に対し、沖縄県がこれを違法だと訴えた裁判で、2023 年 9 月 4 日、最高裁判所は国の指示は適法だとする判決を下した。これにより、県の敗訴が確定した。

タイ新首相就任

2023 年 9 月 5 日、セター・タウィシン新首相が国王宣誓式に出席し、就任を宣誓した。これにより、計 11 政党の大連立政権が本格的に始動した。同国では、同年 5 月に行われた下院総選挙後の首相選びが長期化し、政治空白が約 4 か月となっていた。

モロッコ 大地震

北アフリカのモロッコで、2023 年 9 月 8 日に M6.8 の内部直下型地震が発生した。震源地はモロッコ中部の内陸部で、震源の深さは約 26km。国営メディアは同月 10 日までに 2000 人以上が死亡したと伝えた。1960 年に 1 万 2000 人以上が亡くなった M5.8 のモロッコ南西部で起きた地震の被害以降最大である。

男子バスケ 五輪出場決定

2023 年 8 月 25 日から 9 月 10 日までフィリピン、インドネシア、日本(沖縄)で FIFA バスケットボールワールドカップ 2023 が行われ、アジア 1 位となった日本を含め 7 チームが 2024 年のパリオリンピック出場を決めた。また、日本勢は 8 月 27 日のフィンランド戦で勝利し、初の欧州勢からの勝利となった。

第二次岸田内閣 再改造

岸田文雄総理大臣は内閣改造を行い、2023 年 9 月 13 日に松野博一官房長官が 19 人の官僚名簿を発表した。19 閣僚のうち、初入閣が 11 人、再入閣が 2 人、留任 6 人となった。また、女性が 5 人入閣し、第 1 次小泉内閣や第 2 次安倍改造内閣と並んで過去最多タイとなった。

リビア 大洪水

アフリカ北部に位置するリビアで、2023 年 9 月 10 日からの豪雨により大規模な洪水が発生した。同国東部のデルナでは、ダムが 2 つ崩壊した。同月 12 日、デルナ消防当局は、2300 人以上が死亡したと発表した。また、赤十字社は被災地域で約 1 万人が行方不明、国際連合の国際移住機関(IOM)は、デルナで 3 万人以上が避難生活をしていると伝えた。遺体が山積みとなり、犠牲者の埋葬も問題となった。